

# 防災



区役所や各まちづくりセンターで防災に関するパンフレットなどを配布しています。札幌市防災DVD、防災ビデオも貸し出しています。

## もしもに備え、今できること

自然災害は私たちを突然襲ってきます。もしも災害が起きたとき、被害を少しでも減らすため、また慌てず行動するためには、日ごろの備えと心構えが重要です。

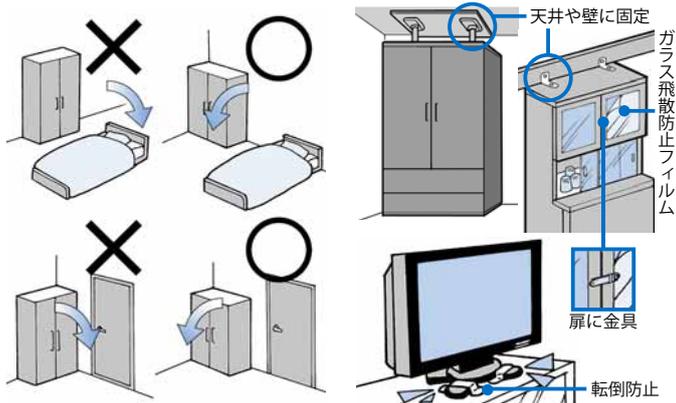
### 東日本大震災パネル展

9月12日(月)～22日(木)  
東区役所1階 ロビー

## 災害に備える ～ 備えあれば、憂いなし ～

### 家具の配置と固定

阪神・淡路大震災での負傷者の7割は、たんすなど倒れた家具や割れたガラスが原因です。



たんすやテレビの前に寝ない。倒れた家具で避難口をふさがないようにする。

たんすなどの大型家具は固定する。ガラス扉などに飛散防止フィルムを貼る。

### 木造住宅の耐震診断

札幌市では昭和56年5月以前に建てられた木造住宅の耐震診断や耐震改修の費用の一部を補助しています。対象となる建物、限度額など詳しくはお問い合わせください。

阪神・淡路大震災犠牲者の8割以上は住宅の被害が原因です



【お問い合わせ】

都市局建築安全推進課

☎211-2867

### 非常持ち出し品の準備

リュックなどに必要なものを入れていつでも持ち出せる場所に保管しましょう。

自宅の持ち出し品をチェックしてみよう！

- 飲料水（1人1日3リットル、3日分）
- 食料品（缶詰、ビスケットなど3日分）
- 貴重品（通帳、印鑑、現金など）
- 救急セット（常用している薬、傷薬など）
- 衣類（防寒衣、下着、長靴、軍手など）
- その他（懐中電灯、ナイフ、携帯ラジオ、ろうそく、ライター、使い捨てカイロ、毛布、ウェットティッシュ、赤ちゃんのオムツ など）



リュックの重さ  
男性15キロ  
女性10キロが目安

そのほか、ご家庭の状況に応じて必要な品を準備しましょう。

### 家族防災会議

災害が起きたとき適切な行動をとるため、事前に家族で話し合い、確認しておきましょう。

- 役割分担（消火、非常持ち出し品担当など）
- 連絡方法
- 集合場所、避難場所



非常持ち出し品や、近くの避難場所、避難経路も定期的に確認しましょう。

